

特別支援教育だより

熊本市立帯山小学校 令和3年6月15日号

全ての子どもたちを学校全体で応援します！

通常学級

通常学級に在籍する教育的配慮が必要な児童に、指導内容や方法を工夫して学習活動を行なっています。

- ・1日のスケジュールや1時間の授業の見通しをもたせること
- ・一度にいくつも指示を出すのではなく、短い言葉での指示を心がけること
- ・言葉だけの指示ではなく写真やイラストを見せること（視覚化）

これらの取組みは、全ての児童にとって集中しやすく分かりやすい授業となっています。その他、複数の教員によるT.T（チームティーチング）、担任や担任外の教員による個別指導等、いろいろな立場の教員が子どもたちの成長を支えます。

気になることがある場合は、担任の先生と保護者の方の十分な相談が大切です。小さなことでもお申し出ください。必要に応じて、特別支援教育コーディネーターや関係する職員が同席することもあります。校内支援委員会を経て学級支援員の先生に個別に支援をしていただくこともあります。帯山小学校の学級支援員は小山先生、小濱先生です。低学年を中心に支援いただいています。児童は2人の先生が来られるのを楽しみにしています。

通級による指導

通級教室は、通常学級に在籍している特別な教育的ニーズのある児童に週1～2時間、学びの支援をしています。例えば、音読、漢字、計算、文章題が苦手な児童は、その子の認知の特性に合う方法で学習します。忘れ物が多い、集中が続かない等の苦手さのある児童とは、トレーニングをしたり、対処法を学習したりしています。

特別支援学級

通常学級の1クラスは1年生から4年生までは35人、5年生と6年生は40人ですが、なかよし学級の1クラスは8人以下です。よって、なかよし学級の児童はそれぞれに合ったきめ細かい教育を日常的に受けることができます。その子の状況に応じて、なかよし学級で個別学習やグループ学習をしたり、通常学級の授業を受けたりしています。その子に必要な学習をその子の得意な方法でスモールステップで学んでいます。

専門家とチームを組んでいます

・スクールカウンセラー（S.C）は、心理の専門家です。高度な専門知識や技能に基づいたカウンセリング等によって、問題解決を図ります。月に数回程度、3人の先生が定期的に帯山小に配置されています。S.Cによるカウンセリングを希望される場合は、担任または教頭に連絡ください。

・スクールソーシャルワーカー（SSW）は、児童生徒が生活の中で抱える諸問題の予防、解決を図る専門職です。学校や家庭で、おうちの方の悩みを聞き、解決に向けて伴走してまいります。

・子ども発達支援センターや特別支援学校の発達の専門家の先生が地域のセンター的機能を担い、小中学校への巡回相談を行います。帯山小学校でも必要に応じて活用しています。

特別支援教育を進めるために

特別支援教育コーディネーター

学校には、保護者の方の相談窓口となり、学校内や専門機関との連絡・調整を行う「特別支援教育コーディネーター」がいます。帯山小学校では、廣野（1-4）、カ田（音楽専科）、西江（2-1）、山下・岩浪（なかよし）、宮本・平田（通級）、森口・濱田（保健室）、太良木（教頭）の10人でこの役割を担っています。

校内支援委員会

学校には子どもたちの様子を学校全体で見守り、チームで支援するための「校内支援委員会」があります。教育的配慮が継続的に必要なお子さんは、担任が「個別の指導計画」や「個別の教育支援計画」を作成し、一人一人のニーズに応じて、学習指導や支援を行います。指導計画・支援計画は、お子さんへのよい関わり方を次の先生や中学校に引き継ぐ大切なものです。

お子さんのことで気になることがあれば、遠慮なく担任や特別支援教育コーディネーターにご相談ください。